

安全データシート

作成 2016年11月10日

1.化学物質等及び会社情報

製品名
製品の名称 アワコンスリック (AC-4200 AC-4800R)
供給者情報
会社名 ジェフコム株式会社
住所 〒579-9014 東大阪市中石切町 3-13-16
担当部署 品質管理課
電話番号 072-988-3813
FAX番号 072-988-3800
推奨用途 ケーブル等の入線潤滑

2.危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性 可燃性・引火性エアゾール :区分2
健康に対する有害性 なし
環境に対する有害性 なし
ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告
危険有害性情報 可燃性／引火性の高いエアゾール
高圧容器:熱すると破裂のおそれ
注意書き 使用前に注意事項をよく読むこと
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと
禁煙

3.組成、成分情報

単一製品混合物の区別 混合物

化学名	含有量(wt%)	化審法	CAS.No.
水	75以上	—	7732-18-5
プロパン	3.7	2-3	74-98-6
イソブタン	1.9	2-4	75-28-5
ノルマルブタン	4.8	2-4	106-97-8

その他成分は企業秘

4.応急処置

目に入った場合 流水で十分に洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合 皮膚に付着した部分を石鹼で充分洗い、異常があれば医師の診断を受ける
吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移して安静にさせ、不快感や呼吸困難などの障害が起きた場合は、速やかに医師の診断を受ける
飲み込んだ場合 無理に吐き出させない。異常があれば医師の診断を受ける

5.火災時の措置

消火方法 粉末、炭酸ガス等の消火剤を火元に放射、散布するなどして消火する。
泡消火剤等を用いて空気を遮断する方法も有効である。
エアゾール製品であり爆発する恐れがあるため、消火活動は十分に距離をとり、風上から行う。
高温にさらされている製品は水をかけて冷却する。ただし、製品に水をかけたまま放置するとサビて破裂する恐れがあるので冷却後早急に取り除く
消火剤 粉末、炭酸ガス、泡

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	エアゾール製品であり、飛散により人体や目にかからないように注意すること。 屋内であれば換気を良くする。 作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用し、ガス等を吸入しない 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法・機 二次災害の防止	危険でなければ漏れを止める。 全ての発火源を速やかに取り除く

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	炎や火気の近くで使用しないこと 火の中に入れてはいけないこと 使い切って捨てること その他製品に明記の用途、注意事項を守ること
保管	高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たるところや火気等の 近くなど温度が40℃以上となる場所に置かないこと 水周りや湿気の多い場所に置かないこと 子供の手の届くところに置かないこと

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会	
ACGIH	
設備対策	特になし、換気の良い場所で使用すること
保護具	必要に応じて呼吸用保護具
保護眼鏡	必要に応じてゴーグル
保護手袋	必要に応じてゴム手袋
保護衣	静電気防止機能付き

9.物理的及び化学的性質

外観	白色エマルジョン(原液)
臭い	データなし
pH	10
融点、凝固点	データなし
沸点、初留点と沸点範囲	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	下限1.8%(噴射剤) 上限9.5%(噴射剤)
蒸気圧	0.53MPa(25℃)
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重	1.00(原液)
溶解度	データなし
N-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10.安定性及び反応性

安定性	データなし
反応性	酸化性:なし
避けるべき条件	高温への暴露
混触危険物質	容器が腐食するおそれがあるので、酸及びアルカリとの接触を避けること

11.有害性情報

急性毒性	経口：区分外 経皮：区分外 吸入(蒸気)：区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	呼吸器感作性：データなし
又は皮膚感作性	皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分外
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外

12.環境影響情報

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	少量の場合：火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いてから捨てること
容器及び包装	大量の場合：許可を受けた廃棄物処理業者と契約を結び、廃棄処理を行う 地方自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う

14.輸送上の注意

国連番号	1950
クラス	2.1
国際規制	海上規制情報：IMO規定に従う 航空規制情報：ICAO/IATAの規定に従う
国内規制	陸上規制情報：消防法、高圧ガス保安法に従う 海上規制情報：船舶安全法に従う 航空規制情報：航空法に従う
緊急時応急措置指針番号	126

15.適用法令

高圧ガス保安法	エアゾール
消防法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
船舶安全法	危険物(高圧ガス)
航空法	高圧ガス
PRTR法	該当しない

16.その他の情報

引用文献	
各種原料SDS	
JIS Z 7253:2012	
政府向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver.1.1))	
http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/files/ghs/h25ver1.1jgov.pdf	

本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保障値ではありません。